

スローガン

Sharpen One's

基本方針

真の心で広島未来を研ぎ澄ます

広島ブロック協議会は、各地 LOM が直面する最大の課題である「存続」と「若手育成」に重点を置き、戦略を進めてまいります。人口減少や地域経済の縮小により、メンバー数の維持は困難を極めており、とりわけ入会間もない若手の定着は喫緊の課題です。だからこそ、共通の理念と目標を共有し、人財を育成する仕組みを確立することが不可欠です。同時に、単独の LOM だけでは解決できない課題も多いため、互いに協力し、補完し合う関係を強化していく必要があります。

私たちの運動の価値は、数や形では測ることはできません。その根底にある「真の心」によってこそ真価が発揮されます。「真の心」とは、相手を思いやる誠実さであり、困難な時こそ公益を優先して人のために尽くす覚悟であり、そして嘘偽りのない純粋な志です。たとえ小さな行動であっても、そこに真の心が宿れば人の心を動かし、地域に希望の灯をともしることができます。その積み重ねがやがて大きな信頼となり、未来を切り拓く力となるのです。

10 年後には「地域から必要とされ、成長と発展を遂げる青年会議所モデル」を確立し、20 年後には「広島から世界に誇れる人財を輩出する地」となる未来を描きます。そのために私たちは、組織を磨き、地域を磨き、人財を磨く歩みを決して止めません。

また、家庭を社会変革の起点と捉え、日常の工夫を通じてカーボンニュートラルを推進いたします。各地域での実践を広げ、未来の世代へ持続可能で安心できる暮らしを引き継いでまいります。さらに、社会の変化や課題に対応するために「家族の継続性」を守る取り組みを推進します。FCP（家族継続計画）の導入を通じて生活の備えを考えるきっかけを提供し、家族の絆や地域とのつながりを深めます。統一的な仕組みづくりと LOM 間の連携により、自助と互助が根づく安心の地域社会の実現を目指します。

2026 年度は、各 LOM への支援を仕組み化し、誰もがリーダーシップを育み成長できる基盤を築きます。人財育成においては、進化したブロックアカデミーやリーダープログラムを通じて、若手から中堅までが横断的に学び合える環境を整えます。また、瀬戸内の強みを活かした食や観光の発展、防災ネットワークの構築など、広島ならではの課題に挑み、安心で活力ある地域づくりを進めます。さらに、デジタル広報を積極的に活用し、SNS を通じて活動の価値を社会にわかりやすく伝えてまいります。

私たちは「Sharpen One's ～真の心で広島未来を研ぎ澄ます～」のもと、組織を磨き、地域を磨き、人財を磨く挑戦を続け、幸せな未来に向けて力強く運動を展開してまいります。